記者発表資料
令和５年７月１１日
みやぎ米推進課生産販売班
担当：増田、増岡
電話：022-211-2841
miyamai-se@pref.miyagi.lg.jp

令和５年産水稲の生育状況について（７月１０日現在）

１　生育概況及び今後の管理

○古川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は 68.2cm(平年比 113％)、１㎡当たりの茎数は 685 本(平年比 114％)、葉色はＧＭ値※１が 38.1(平年差-1.3)、葉数は 10.9 枚（平年差＋0.6 枚）となっており、平年と比較して生育はやや進んでいる。幼穂※２長は 2.0 ㎜（平年差＋0.3 ㎜）となっており、７月７日に幼穂形成期※３に達したとみられる。

○葉色が低下しているほ場では、必要に応じて追肥を行う。

○病害虫防除所の調査の結果、葉いもちの発生地点率が平年より高かったことから、ほ場をよく観察し、葉いもちの早期発見・早期防除に努める。

※１　ＧＭ値：葉に含まれている葉緑素量の測定値。栄養状態を把握するもの。
※２　幼穂（ようすい）：茎内部で作られる「幼い穂」。
※３　幼穂形成期（ようすいけいせいき）：幼穂が 1㎜以上の長さになった時期。出穂（しゅっすい：穂が出ること）の 25 日前頃。

２　具体的データ

（１）生育調査結果　（古川農業試験場　ひとめぼれ）

移植日	草丈			茎数			葉色			葉数			幼穂長		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM 値)	前年差 (GM 値)	平年差 (GM 値)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本年 (㎜)	前年差 (㎜)	平年差 (㎜)
5 月 10 日	**68.2**	101	**113**	**685**	108	**114**	**38.1**	1.6	**-1.3**	**10.9**	0.4	**0.6**	**2.0**	0.7	**0.3**

【参考】

県内品種別（各農業改良普及センター調べ）

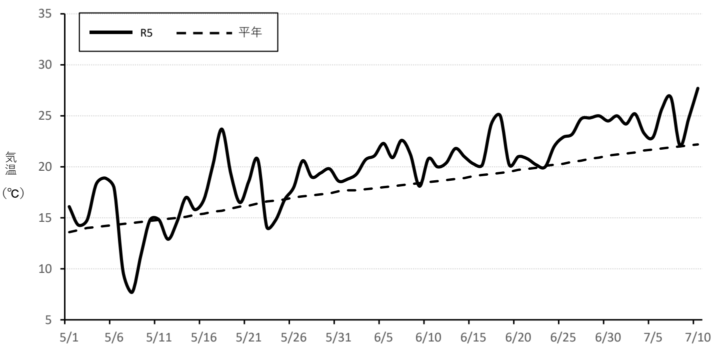
品種名	草丈			茎数			葉色		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM 値)	前年差 (GM 値)	平年差 (GM 値)
ひとめぼれ	66.7	100	107	500	96	94	38.4	0.3	-1.9
ササニシキ	65.5	100	109	530	88	88	38.0	0.5	-0.4
つや姫	66.5	98	113	539	107	102	41.7	0.8	-1.4

地帯区分別（ひとめぼれ・ササニシキ、各農業改良普及センター調べ）

地帯区分別	草丈			茎数			葉色		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (GM 値)	前年差 (GM 値)	平年差 (GM 値)
北部平坦	67.8	99	109	535	94	94	38.4	0.3	-1.7
南部平坦	74.9	105	113	478	104	92	38.0	-0.5	-0.2
仙台湾沿岸	63.4	99	103	456	91	89	38.1	-0.3	-2.5
西部丘陵	65.1	105	109	460	98	94	39.2	0.5	-1.9
三陸沿岸	60.7	97	104	579	107	106	36.1	3.2	-0.8

（２）平均気温の推移及び旬別の気象データ（仙台アメダス）

平均気温の推移（仙台アメダス）



時期		平均気温(℃)	平年差	降水量の合計(mm)	平年比	日照時間(時間)	平年比
5月		16.6	1.0	124.5	113%	211.1	110%
	上旬	14.4	0.1	97.5	339%	81.3	130%
	中旬	17.2	2.0	15.0	40%	68.1	114%
	下旬	18.2	1.2	12.0	28%	61.7	89%
6月		21.6	2.4	173.0	120%	162.2	113%
	上旬	20.6	2.5	50.0	149%	74.5	124%
	中旬	21.4	2.3	77.0	155%	52.3	119%
	下旬	22.8	2.5	46.0	76%	35.4	89%
7月	上旬	24.8	3.0	39.5	63%	50.8	134%

★ 幼穂形成期から減数分裂期（出穂期の 15～10 日前頃）にかけて、平均気温 20℃以下又は最低気温 17℃以下が続く場合は、幼穂を保護するための深水管理（幼穂形成期：水深 10 ㎝程度，減数分裂期：水深 17～20 ㎝以上）を徹底する。

※次回は出穂状況の調査結果を
７月２８日に発表予定です。